

鳥たよも羽をあらふる故あるよ

前大納言尊氏

〔菟玖波集〕

戀連歌中

ぬるゝ袖をもほすひまそあき

まつよひのふくれはやうて別ゝて

前大納言尊氏

鳥の音はまゝ夜深しとおもへとも

人こりいそくわうれありけれ

前大納言尊氏

〔菟玖波集〕

戀連歌下

おあしかみたの何とおつらん

うきからい我もこゝろのうれかし

前大納言尊氏

こりすまちつる身こそつられ

人よりもつれあきものい心よて

前大納言尊氏

〔菟玖波集〕

戀連歌一

かしこき人はすゑそめの袖

かくれうの花をうりこそ友とあれ

前大納言尊氏

松風はこの谷うけと思へとも

南朝正平十三年 北朝延文三年四月三十日